

# ひろしまIoT実践道場のご紹介

平成30年6月25日  
広島県イノベーション推進チーム

経済産業研究所（RIETI）主催の下、首都圏を中心に開催されてきた『IoTによる中堅・中小企業の競争力に関する研究会』の地方展開として、広島地域で開催する。

## <広島県における開催のねらい>

- ▶ 県内の中堅・中小製造業を対象とする，IoT実践活用のモデル企業を選定し，その実践を支援することで，地域における，IoT活用のモデルケースを創出する。
- ▶ 当活動を通じたモデル企業の成果やそのプロセスを，県の広報活動を通じて地域に広くアピールし，県内の中堅 & 中小製造業への展開を加速していく。

## IoT実践道場の活動ポイント

- ▶ 一般の研究会のような多数参加型の場とは異なり、モデル企業を対象に、ITやIoTに精通したアドバイザーや、地域の有識者で、経営者自らの実践を支援していく。
- ▶ モデル企業は、実践道場の場で、自社が抱える業務課題やIoT活用テーマなどを、ヒアリングや企業訪問等を通じて、参加メンバーにオープンにさせていただく。
- ▶ その上で、モデル企業は、アドバイザーや有識者から、専門コンサルティングとほぼ同等の適切な助言を無料で受けることができる。

## モデル企業の参加条件

- ▶ 広島県内に本社を有する企業であること
- ▶ 自社の業務課題が明確であること
- ▶ 経営者自らIoT道場に参加でき、且つ投資決定が可能であること
- ▶ IoTもしくはIT活用を実践した経験があること（部分的な活用でも可）
- ▶ 成果をオープンにしていだけること（範囲は応相談）

## 活動内容

- ▶ IoT実践道場の開催は、隔月開催を基本とし、1年間の活動とする。
- ▶ モデル企業は、その間で、自社の課題解決や実施に取り組んでいただく。

### (1) 第1回

進め方の確認、モデル企業から会社概要紹介および業務課題の提示、視察日程調整など

### (2) モデル企業視察

企業を訪問し、現況や課題をプレゼンテーション頂くとともに、工場視察をお願いする予定。

### (3) 第2～5回

①モデル企業が抱える「課題」を全て抽出

・モデル企業が「課題」と考えるもの、アドバイザー及び地域有識者が「課題」と考えるものなど

②各課題に対するIoT活用の妥当性を検討

③モデル企業が、「課題」の中から解決に向けて実践するものを選択・決定

④「課題」に対し、IoTを用いて解決する方法の検討・決定

⑤投資金額の想定、投資対リターンの試算

⑥投資の是非を決定

⑦ITベンダー/SIerの選定

⑧IoTシステム導入、効果算定

## IoT実践道場の推進体制（案）

\*モデル企業は別途選定予定

区分	所属	役職	氏名
座長	中電技術コンサルタント株式会社電気本部	上席エグゼクティブエンジニア	岡村幸壽
モデル企業*	A社	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	B社	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	C社	〇〇〇〇	〇〇〇〇
アドバイザー	富士通株式会社ものづくりビジネスセンターものづくりプロモーション企画部	マネージングコンサルタント	高鹿初子
	株式会社日立製作所モノづくり戦略本部	担当本部長	堀水修
	NEC株式会社ものづくりソリューション本部	事業主幹	関行秀
	三菱電機株式会社FAソリューション事業推進部FAソリューションシステム部技術企画グループ	主席技師長 IoTエキスパート	吉本康浩
地域有識者	国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター	イノベーションコーディネータ	坂元康泰
	広島県総合技術研究所西部工業技術センター生産技術アカデミー生産システム研究部	担当部長	宮野忠史
	広島県総合技術研究所東部工業技術センターデジタルものづくり支援担当	担当部長	門藤至宏
	広島工業大学大学院工学系研究科 情報システム科学専攻情報学部情報工学科	副学長 教授・博士（理学）	長坂康史
	福山大学	〇〇〇〇	〇〇先生
	マツダ株式会社生産企画部	主幹	市本秀則

# 活動スケジュール

活動は、隔月開催を基本とし、1年間の活動とする。

	2018									2019		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
立ち上げ準備												
活動内容検討	→		★6/25 開催案内									
体制検討		→										
研究会開催												
要件ヒアリング				☆第1回								
進捗確認①						☆第2回						
進捗確認②								☆第3回				
進捗確認③										☆第4回		
成果目標/投資内容												☆第5回
工場見学					☆視察							

おわり